



進化を遂げた

ステーブルコイン

Xankは暗号通貨の中で初めて

ステーブルコインの機能と、需要と供給のバランスで価格が自由に決定される経済原理も取り入れている暗号通貨です。Xankには、価値の保存・交換手段・計算単位という貨幣の基本的本質を支えるために重要な、価格の安定性・スケーラビリティ・プライバシー・権限集中の排除などの特徴を兼ね備えています。

投資価値を持つ初のステーブルコイン

Dashネットワークに基づいたXankは、ユーザーフレンドリーでスケーラブルな支払いシステムになることを目指し、設計されています。

IMF特別引出権 (SDR)

国際通貨基金 (IMF) のSDRは、世界の支配的通貨 (USD、EUR、RMB、JPY、GBP) に基づいた基準です。これをXank価格決定の基準にすることで、単一の法定通貨よりも安定した価格決定が可能になります。Xank [zangk]では、取引時のXank価格がSDRにならって設定されます。SDRに基づくXank価格が決定した後に、もしもネットワーク参加者が望む場合には、消費者物価指数 (CPI) に基づいてXank価格を更新することも可能です。

市場での需要・共有バランスがXank価格を決定

Xankにはステーブルコインとしての機能もありますが、BitcoinやDashのように市場で流通している投機的性質を持つ暗号通貨と同様に価格が変化します。他のステーブルコインとの違いは、Xank価格が完全には固定されないことです。Xank価格は市場の需要と供給によって変動し、需要と供給によって生じる価値の変動が反映されます。Xankのステーブルペイ機能により、トランザクション実行中は一定の価値が保持されます。

ステーブルペイはどのように機能するのですか？

ステーブルペイを利用した取引中にXank価格が下がった場合、自律資金調達可能な XankリザーブからXankコインがネットワークに放出され、トランザクションに利用しているXank価格の下落を防ぎます。ステーブルペイを利用した取引中にXank価格が上がった場合、超過したXankコインは前述のXankリザーブが吸収し、Xank価格の高騰を防ぎます。

分権型ガバナンスに適用されたブリッジウォーター社の「優れたアイデア主義」



有権者を評価するために使用されるDot Collector (ドットコネクター)

Xankドットコネクターは、Googleが人々のリンクを集約してPageRankアルゴリズムにおける重要な要因を決定するのと同様に、マスターノードの信憑性を1から10のスコアリングで評価する仕組みです。この仕組みは、100以上の話題のうち、どれについて誰が強い議決権を持っているのか、に基づいています。Xankはこの種の分散型ガバナンスモデルを展開する、初の暗号通貨です。Xankは、アイデア主義ガバナンスと自己統制型アイデンティティを統合することにより、徒党を組んだ一部ユーザーグループによるネットワーク支配を防ぎます。





Xankの特徴



必要に応じて発動する価格安定メカニズム

Xankの革新的なステーブルペイ方式により、所定の法定通貨に基づいた価格安定メカニズムをユーザーは享受できます。Xankの保有者がXankを現金化する際に、ステーブルペイ機能が暗号通貨特有の価格乱高下からユーザーを守ります。



スケーラビリティ

Xankでは、ほぼ一瞬で取引が完了するため、使い心地はクレジットカードなどの支払いシステムと同様である一方で、中央集中型の特定の企業やサービスに依存しません。



プライバシー

Xankネットワークは、Zerocoinプロトコルとステッキングを使用しています。これは全く新しいブルーフ オブ ステーク (PoS) コンセンサスアルゴリズムで、他の暗号通貨を超えるプライバシーを提供します。



分散化

Xankガバナンスでは、1000のコインで複数のマスターノードを購入することができますが、マスターノードオペレーターによる複数の投票を防ぐため、自己統治型アイデンティティを実装しています。

ステーブルコインである必要がある理由

価格の変動性は、大多数の主要な暗号通貨の特徴でもあり、投機的な投資を好む投資家を惹きつける一方で、一般の消費者や小売店での利用を妨げる要因にもなっています。貨幣の主要な目的が物品とサービスの交換であることから、リスクに晒されたくない、それが故に暗号通貨を使わない、という消費者心理を生みます。



私たちの目標は、安定した摩擦のない通貨で社会を改善することです

これから立ち現れる新しい世界では、政府は通貨と個人認証システムを独占できなくなります。人民の力による分散型自治組織こそが、この変化をもたらします。

Amadeus Next にて選出された 初のブロックチェーンスタートアップ

next.amadeus.com

Amadeus Nextにて、初のブロックチェーンプロジェクトとしてXankのステーブルコインが選ばれました。Amadeusは暗号通貨による支払いプロセスの改善を目指していますが、暗号通貨につきものの価格の乱高下により妨げられています。考慮に入れる価値のあるもう1つの側面は、航空会社のマイルなどのロイヤリティポイントを統合することで、特定の航空会社やアライアンス外でも利用できるようにすることでした。

2017年、Amadeusは世界の航空チケット販売システム市場の43.9%を占め、収益は58億1000万ドルに達しました。Amadeus Nextのビジョンは、アジアでトップの旅行関連技術の創業者コミュニティを築き、育成することです。Xankはブロックチェーン・ソリューションを開発しています。Xankが開発しているソリューションは、Amadeusの世界的な運用によってテストされ、おそらく採用されるでしょう。

オフィス



WeWork 汝矣島
(によいとう)
ソウル、韓国



info@xank.io



http://call.xank.io/



https://xank.io/